

試験日 : 2025 年 11 月 8 日 (土)
入試種別 : 外国人留学入学試験(4 月入学)正規留学生 修士課程
学部・研究科 : 文学研究科 東洋史学専攻
科目名 : 専門科目

解答又は解答例

問 1

【解答例について】当該問題は、受験生の史料読解能力を問うものである。採点は問題文を正しく読解し、理解しているかを踏まえて、総合的に評価する。以下に掲げる現代日本語訳はあくまで解答の一例である。

解答例

➡治平年間、大洪水があったので、意見を求めた。鄭獬は上疏してこう言った。：「(中略) 今すぐ、詔を下して全国の忠義の士人を動かせれば、必ず隠れていた忠義の直言を余すところなく集結して、それらの提案(する災害対策)を朝廷に薦めることができるにちがいありません。そもそも天子には「一日に萬機あり」と言われるように、一日のうちに何が起こるかわからないほど忙しい身であり、当然ながらすべての政務を怠りなく総覧することはできません。とはいえこの災害時に平常時のとおり中書や樞密院に問題議案をさし下すだけであれば、実行するところがないままに、時間がたって対策はなすすべなくとりやめになってしまいます。」

問 2

【解答例について】当該問題は、受験生の史料読解能力と専門知識を問うものである。採点は問題文を正しく読解し、理解しているかを踏まえて、総合的に評価する。以下に掲げる現代日本語訳はあくまで解答の一例である。

解答例

➡北宋の國の初期、第二代皇帝太宗より以來ずっと、州の副知事である通判は未入流の選人を推挙して從九～八品の下級品官である京官にすることができた。轉運判官が推挙できる人数は、提點刑獄と同等とされた。